

平成31年度
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人鹿児島県文化振興財団	
施 設 名	霧島国際音楽ホール (みやまコンセール)	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内定額(総額)	7,719	(千円)
公演事業	2,286	(千円)
人材養成事業	3,308	(千円)
普及啓発事業	2,125	(千円)

(2) 平成31年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	みやま音楽アカデミーⅠ 「雅楽は楽しいっ！」	令和元年6月16日	「絵本時代劇 痛快!ねぎぼうずの…」 出演:飯野和好,平野文, 雅楽三味中村さんち, スタッフ:五代香織,島田夏海, 村場盛義 他	目標値	700
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	140
2	みやま音楽アカデミーⅡ 「音楽家への道」	令和元年8月5日~7日, 令和2年2月9日	講師:須関裕子,松原勝也,日高剛 スタッフ:公益財団法人ジェスク音楽文 化振興会,吉村慶裕 他	目標値	300
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	145
3	みやま音楽アカデミーⅢ 「みやま音楽塾」	令和元年8月11日 ~令和2年2月16日	講師:海老原光,浜中康子,みやまコン セール協力演奏家 他 スタッフ:内真奈美,松尾幸輝, 村場盛義 他	目標値	1,300
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	1,100
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p> <p>当ホールは、県民の音楽文化の振興と音楽を通じた国内外の人流促進を図ることを主目的として設置された音楽専門ホールであることを踏まえ、「新たな音楽文化の創造を目指す音づくり・人づくり」、「豊かな自然との調和」、「世界を視野においた音楽文化の交流」を目指して、次のような基本的な考え方のもとに文化事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none">ア 世界を視野においた芸術性の高い音楽文化及び交流の場の創造を目指した「霧島国際音楽祭」の実施イ 県民の豊かな文化性を育む音楽専門ホールにふさわしい質の高い音楽鑑賞事業の展開ウ ホールの特性を生かした音楽教育、音楽活動・研修等の支援エ 地域の特性・資源を生かした「霧島国際芸術の森基本構想」推進のための、霧島国際音楽祭の実施と音楽専門ホールの特性を生かした質の高い音楽事業の展開 <p>事業の企画・実施に当たっては、音響学的にも極めて優れている主ホールや霧島の豊かな自然に包まれた野外音楽堂の特性を生かしながら、多彩なジャンル、質の高い音楽をより多くの機会を用意し低廉な価格で提供できるように努めた。また、助成対象事業「みやま音楽アカデミーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」をはじめとする、音楽指導者や音楽を愛好する県民を対象とした講習会も積極的に開催し、音楽文化振興に資する取組も行った。</p> <p>平成 31（令和元）年度に計画した自主事業は、概ね計画通りに実施することができた。公演数は、ミニ・コンサート 43 公演、アウトリーチの「おとどけコンサート」が 28 公演、「みやまさてらいとコンサート」が 7 公演であった。大型企画事業・自主制作企画事業等の 16 公演（うち 1 公演は新型コロナウイルス感染症対応のため中止）と併せて、総公演数は 94（実施公演数は 93）公演であった。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p> <p>当ホールは、平成 31（令和元）年度、94 名がみやまコンセール協力演奏家として登録しており、地元に住する多くの演奏家の協力を得ることで、様々な企画を継続的に実施することが可能となっている。</p> <p>助成対象事業（人材養成事業）「みやま音楽アカデミーⅢ・みやま音楽塾」は、当ホールの職員による楽典や音楽史、ソルフェージュなどの講義に加え、協力演奏家による実技レッスン、合奏・アンサンブル指導、音響や照明などの舞台業務体験、演奏会の企画・運営体験などの講座を通して、音楽を幅広く多岐にわたって学んでもらう事業で、練習室の多い施設・設備を持つこと、音楽科教諭経験者が常勤していること、多くの協力演奏家がいること、舞台技術者が常駐していることなどの当館の特性をフルに活用していることから、多方面から注目を集めている。また、助成対象事業（普及啓発事業）「ミニ・コンサート」では、協力演奏家による演奏が行われ、近隣の研修施設との連携により、宿泊学習の研修プログラムの一つとして利用があるほか、各種研修旅行や、普段の生活の中でコンサートに来る機会が少ない特別支援学校の児童・生徒や高齢者等の利用も多い。職員によるレクチャー付きコンサートが好評で、年間 40～50 回程度の公演依頼がある。同様に、助成対象事業（普及啓発事業）「みやまさてらいとコンサート」においても、離島や遠隔地を中心に、生の音楽を聴く機会の少ない地域へ演奏者を派遣するとともに、コンサートの前後に施設等における慰問演奏や、子供たちを対象としたワークショップ、実技指導を行うなど、音楽文化振興の一助となっていると考えられる。</p> <p>上記のことから、地元の演奏家に対して演奏の機会を提供することはもとより、本格的なクラシック音楽を幅広い年代の鑑賞者に提供したり、音楽文化を担う人材を育成したりする観点から、当ホールの事業が文化・芸術の振興に果たす役割は大きいものと考えている。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

1 公演事業「開館25周年記念事業 Power of Voice～声力・唄力～Vol.2」

本事業は2回目となる当ホールオリジナルの企画であり、1回目からさらに洗練された内容で世界中の様々な“唄”の文化が集結する一度きりの公演となった。来場者からは、「肉声の魅力をつっぷり味わえて聴きごたえ、見ごたえがあった。」など、世界の“唄”を堪能できたという声や、「鹿児島にいながら本物を聴く機会があつて嬉しかった。」「国境や民族をこえる音楽の力を感じた。」などの声が寄せられ、公演内容に対して大いに満足していただくことができたことから、県の文化芸術振興に寄与する事業であったと考える。一方、来場者数の目標値を下回ったことから、普段聴くことが少ない民族音楽の公演は、事前に公演の概要を伝えるなど来場に直接繋がるような広報活動の工夫や、県民のニーズに合った公演内容の検討、企画運営を継続して行う必要がある。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

県民の音楽活動への意欲や演奏技能を高めると共に、本県の音楽指導者等の資質向上のために、生涯学習・人材育成を主たる目的として以下の3事業を実施した。

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「雅楽は楽しいっ！」

来場者のほとんどが、生の雅楽に初めて触れる機会となった。また、終演後に楽器体験コーナーを設け、雅楽器に実際に触れたり音を出したりする体験ができるようにしたことで、我が国の伝統音楽のよさや面白さをより具体的に伝えられる事業となった。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「音楽家への道」

3日間の講習会で国内外のトップアーティストによるレベルの高い指導を受けた受講生らが、演奏技能の向上はもとより、芸術、音楽への向き合い方等、様々な示唆を得る好機となった。また、2月に実施した「若い芽のコンサート」では、受講生らが講習会后約半年間の自己研鑽の成果を十分に発揮する演奏を行い、聴衆から演奏と本事業に対する称賛の声が多く得られ、未来の鹿児島の文化芸術を担う人材育成に寄与する事業となった。

(3) みやま音楽アカデミーⅢ「みやま音楽塾」

演奏技術の基礎や音楽の基礎理論、舞台運営など、普段の学校や部活動では学べない内容で、受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。本年度の受講者は、中・高生～社会人と幅広い年代で構成され、受講生相互の交流を深めながら音楽の楽しさを存分に味わうことができる事業として展開することができた。修了演奏会においても、多くの県民が来場し、本事業の価値や学びを継続することの大切さを指摘する声が多く挙げられた。

3 普及啓発事業

県民の音楽文化の振興・普及を推進するため、幼児・学生や普段コンサートに来る機会が少ない特別支援学校の児童・生徒、高齢者、当ホールを利用する機会が少ない遠隔地の県民を対象に、質の高い音楽を提供する事業を実施した。

(1) ミニ・コンサート

各鑑賞団体の年齢や人数、要望、季節等に応じたプログラムやレクチャー内容の工夫に努め、当ホールの特性を活かした親しみもてるコンサートを実施することができた。また、昨年に引き続き、複数団体が一度に鑑賞できるよう、参加団体と連携して時間調整を行った。その結果、平成31（令和元）年度は43回の開催ができ、通算1127回の実施となった。来場者アンケートでは、98.1%の来場者から、「満足」との回答を得られたと同時に、「音楽に興味をもった。」「間近で生の音楽を聴けて感動した。」「音の響きがとても心地良く、クラシックを魅力的に感じた。」「解説があつて分かりやすかった。」等、音楽への興味や生の音楽体験のよさ、当ホールの音響のよさに対する肯定的な意見が数多く挙げられた。

(2) みやまさてらいとコンサート

開催対象地区【大島地区（徳之島・沖永良部島・与論島）】での演奏会のほか、実技指導やバンドクリニックを実施することができた。いずれの会場においても来場者の反応がよく、音楽への興味・関心を更に高める機会となった。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

平成31（令和元）年度に計画した事業は、概ね計画通りに実施することができた。いずれの事業においても、4か月以上前に実施要領の詳細を決定し、物的・人的環境等に見通しをもって実施することができた。

1 公演事業「開館25周年記念事業 Power of Voice～声力・唄力～Vol.2」

本事業は、単なる買取公演ではなく、当館のオリジナル企画をプロモーター側に提示し、趣旨に賛同するアーティストのスケジュール調整やプログラム調整などをプロモーター側で行い、共同で公演を制作したものである。通常の買取公演に比べて、緊密な連絡・調整が必要であったが、プロモーターとの連絡・調整及び出演者との連絡を迅速に行うことができ、1回目（平成29年度実施）からさらに内容を洗練し、世界中の様々な“うた”の文化が集結する一度きりの公演を実現することができた。また、当ホールの開館25周年記念事業として位置付け、かごしまミュージック・クラブ会員をはじめ、長年当ホールを愛好する方への無料招待等を実施した。しかしながら、来場者数は180名（目標入場者数の24.6%）にとどまり、入場料収入が見込みを大幅に下回ったが、支出については広告料、印刷製本費など経費節減に努め、予算内に収めることができた。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「雅楽は楽しいっ！」

本事業は、本来2つの別の企画であったものを、1つの事業として実施することを当ホールからプロモーター側に提案し、実現した事業である。雅楽という堅いイメージの伝統音楽を、ファミリー向けのレクチャーコンサートの形で行うことによって、子どもと一緒に大人も雅楽について学び、親しみ、興味をもっていただくという趣旨で制作した。このような趣旨を踏まえ、4歳児以上の幼児から入場可能とし、家族で鑑賞できるように学生料金（4歳児以上大学生まで）を通常より安価に抑えた。併せて、県内の幼児・小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の幼児・児童・生徒を対象として、申込により先着100名を無料招待する取組も行った。以上のことから、なかなか聴く機会の少ない雅楽の生演奏を、絵本の読み語りとともに行うという新しい形のコンサートを、子供たちをはじめ、幅広い世代に楽しんでもらうことで、家族連れの観客が多く得られ、新しい客層の開拓に繋がるきっかけとなった。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「音楽家への道」

本事業は、これまでは鹿児島県からの受託事業として12年間行ってきた事業であるが、令和元年度からは当ホールの自主事業として行うことになった。霧島国際音楽祭という世界的な音楽祭がこの地に根付いており、参加アーティストの協力が得られるため、通常に比べて経費が抑えられて実施できるものである。通常、鹿児島では受講することが困難なトップアーティストに直接指導を受けられる貴重な機会を、受講料無料で提供することに加え、講習会受講後、半年後に成果発表の場（「若い芽のコンサート」）を入場無料で実施するため、予算の範囲内で支出の節約に務めた。

(3) みやま音楽アカデミーⅢ「みやま音楽塾」

年度当初にカリキュラムを作成し、県内市町村教育委員会や各学校の音楽担当者、吹奏楽連盟の加盟団体等へ広報し、受講生獲得の協力を得ることができた。また、受講料や聴講料を文化普及活動として利用しやすい料金に設定するとともに、自作の講義資料や近隣学校からの楽器借用など、経費等の節約に努めながら事業を実施できた。なお、当ホールの課題である公共交通機関でのアクセスが、受講の妨げとならないよう、受講生の無料送迎バスの運行を行い、受講生がより参加しやすい環境整備ができた。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

希望月の前月1日（必着・休館日の場合は翌日）までに申し込み、みやまコンセール協力演奏家の出演者を決定するという流れを通年に渡り滞りなく行うことができた。コンサートの入場料を低価格（ミニ・コンサート）・無料（みやまさてらいとコンサート）に設定したほか、出演者の旅費を抑えることで、遠隔地へ出向くことができた。何より、日頃生演奏に触れることの少ない方々に生の音楽を提供することや、離島やへき地など、遠隔地における音楽文化振興に資することができ、開催地や来場者からも大変好評であった。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

1 公演事業「開館25周年記念事業 Power of Voice～声力・唄力～Vol.2」

日本国内はもとより、世界中には“声”による様々な音楽文化が存在する。“声”の文化は、その地域に生活する人と共に生まれ、愛され、育まれて発展してきたものであり、それぞれの国や地域に対する文化的理解を深めるための絶好の対象であると考え。しかし、鹿児島では、民族音楽や伝統音楽の公演があまり開催されず、学校の音楽担当者でも生で聴く機会が少ないため、教育現場において十分に扱われることは少ないものと考えられる。

そこで、本事業では、伝統・民族音楽に対する認識を深め、文化を愛し、大切にすることを育み、音楽の発祥でもある“声”の持つ力、“唄”の持つ力を再発見するとともに、文化と生活の密接な関連や、人間の“声”による音楽が、人々に安らぎやなぐさめ、連帯感、郷土愛などを与えてきた歴史に思いを馳せる機会とすることにより、鹿児島の音楽文化振興に大きく寄与するものであると考えている。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「雅楽は楽しいっ！」

鹿児島県では、雅楽の演奏会はほとんど行われることはない。神社などで行われる儀式の際に雅楽を耳にすることはあるが、そのほとんどは録音であり、生の雅楽演奏に接する機会は少ない状況である。雅楽は、我が国で千年以上も受け継がれ、守られてきた音楽形態であるが、それに対する国民の意識は必ずしも高いとはいえない。この貴重な文化遺産を継承し、守っていくためには、実際に触れることでその良さを味わい、一人でも多くの方々が我が国の誇りとして雅楽に興味と関心を抱き、理解することが肝要であると考え。

そこで、人気の絵本シリーズを中心とした読み語りを、雅楽の生演奏と共に届けるコンサートを通して、雅楽に興味のない方にも気軽に来場してもらうことで、新しい客層の開拓につながるのではないかと考えた。さらに、楽器の演奏体験コーナーや一緒に歌う体験を含めた聴衆参加型とし、雅楽について子どもと一緒に学び、体験することで、子供たちはもとより、大人世代にも我が国の伝統音楽の良さや面白さが伝わり、興味をもつきっかけになるのではないかと考えた。

コンサートは、幅広い世代に我が国の伝統音楽のよさや面白さを伝えるものとなり、県内幼児・児童・生徒無料招待を実施したことで、家族連れの観客を多く得ることができ、新しい客層の開拓につながるきっかけとなった。来場者アンケートでは、雅楽の音色の美しさについて評価する声が多く、終演後に設けた楽器体験コーナーについても、「聴くだけでなく実際に触れたり音を出したりすることができてよかった。」という声や「雅楽を鑑賞する機会はなかなかないので大変興味深かった。」「新しい形の音楽会」など、当ホールの事業を評価する声を得ることができた。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「音楽家への道」

本事業は、霧島国際音楽祭に参加しているアーティストを講師に迎え、県内の音楽家を志す若者を対象に、未来の鹿児島の文化芸術を担う人材を育成するという趣旨で、実技指導を主体とした3日間のクリニックを行うものである。これまで県の受託事業として12年間行ってきた事業であるが、令和元年度は当館の自主事業として行うことになった。各コース4名程度の定員とし、録音審査によって受講生を選考した。受講生は、近隣の研修施設に宿泊もできるように手配し、夜も含めて練習時間を十分に確保することができた。さらに、講

習が一過性のものにならないようにするため、半年後に受講生による「若い芽のコンサート」を実施し、広く県民にもその成果を鑑賞していただく機会とした。

3日間の講習会は、受講生にとって、演奏技能の向上はもとより、音楽への向き合い方等、様々な示唆を得る機会となった。また、2月に実施した「若い芽のコンサート」は、講習会后約半年間の自己研鑽の成果を十分に発揮する好機となり、聴衆から演奏と本事業に対する称賛の声が多く得られたことにより、未来の鹿児島県の文化芸術を担う人材育成に寄与することができた。この講習会を受けた受講生が、後に霧島国際音楽祭のマスタークラスの受講生となったり、プロの演奏家になったりするケースも出てきており、鹿児島県の音楽文化振興に大いに寄与する事業であると考えられる。

(3) みやま音楽アカデミーⅢ「みやま音楽塾」

平成31(令和元)年度で5年目となった「みやま音楽アカデミー みやま音楽塾」は、約半年間、当ホールの職員(音楽科教諭経験者)による楽典や音楽史、ソルフェージュなどの講義に加え、協力演奏家による実技レッスン、合奏・アンサンブル指導、音響や照明などの舞台業務体験、演奏会の企画・運営体験などの講座を通して音楽を幅広く多岐に渡って学ぶ企画である。これらは、練習室の多い施設・設備を持つこと、音楽科教諭経験者が常勤していること、多くの協力演奏家が所属していること、舞台技術者が常駐していることなど、当館の特性があるからこそ実現可能な企画であり、多方面からも注目を集めているところである。最終日には受講生らが企画した修了演奏会を行い、平成31(令和元)年度も、昨年度に引き続き、鹿児島県出身の指揮者“海老原光氏”が特別指揮者としてタクトを振り、また前日には同氏による特別講義も実施した。

その結果、演奏技術の基礎や音楽の基礎理論、舞台運営など、普段、学校や部活動では学べない内容を学ぶことにより、受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。受講者も中・高生～社会人と幅広い年代で構成され、受講生相互の交流を深めながら音楽の楽しさを存分に味わうことができる事業を展開できた。修了演奏会においても、多くの県民が来場し、本事業の価値や学びを継続することの大切さを指摘する声が多く挙げられた。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

当館は山間部に立地しており、自然に囲まれたすばらしい環境に立地する反面、公共交通機関でのアクセスは非常に不便な状況である。また、鹿児島県や当館が立地している霧島市も、人口の減少、高齢化が進行しており、当館が公演時に実施しているアンケート調査でも、来館者の高齢化が進み、若い世代の来館者数は伸び悩んでいる。このような状況の中、当ホールの「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」は、県民の音楽文化の振興・普及を推進するために、当ホールを利用したくてもなかなか利用できない遠隔地の県民や、若年層に対する質の高い音楽の提供といった視点で極めて従業な事業であると捉えている。実施団体への事後アンケートでも、事業に対する評価を得るとともに、クラシック音楽のよさを指摘する声や今後の音楽鑑賞への意欲への高まりが感じられる声が多く挙げられた。

以上の事業を含め、県民の音楽文化への関心やニーズに沿って、「県民が聴きたい音楽」、「県民に聴いてほしい音楽」の両面のバランスを踏まえながら、世界に誇る音楽専門ホールにふさわしい質の高い音楽鑑賞事業を行うことができた。また、これからの音楽文化を担う人材養成や県内各地域への文化芸術普及のための事業の充実により、音楽文化の更なる振興と、県民のあらゆる音楽的なニーズに応え、鹿児島県全体各種事業を展開することができたと考える。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

当ホールでは、地域の音楽文化の真の中核施設となるべく、特に地域の音楽文化の更なる振興と、これからの音楽文化を担う人材養成に力を入れている。中でも当ホールにおいて特筆すべき事項を以下に挙げる。

1 地元音楽家に対する演奏機会の提供

【協力演奏家の内訳】

当ホールでは、平成 31（令和元）年度は 94 名がみやまコンセール協力演奏家として登録しており、当ホールとしては地元に住する多くの演奏家の協力を得られることで、様々な企画が可能となっている。

楽器名	人数	楽器名	人数	
ピアノ	24	ヴァイオリン	7	
フルート	9	チェロ	2	
オーボエ	2	コントラバス	1	
ファゴット	1	ハーブ	2	
クラリネット	4	クラシックギター	3	
サクソフォン	5	声楽	ソプラノ	12
トランペット	3		メソソプラノ	2
ホルン	2		テノール	1
トロンボーン	2		バリトン	2
ユーフォニアム	3	マリンバ	3	
チューバ	2	リコーダー	2	
リコーダー	2	合計	94	

協力演奏家は、互いに切磋琢磨し、自らの演奏技能や音楽性を磨くことで専門性の維持向上を図り、本県の音楽文化の振興に寄与するという目的を共有しながら、地域の音楽文化振興の担い手として活躍している。当ホールでは「ミニ・コンサート」、「おとどけコンサート」、「みやまさてらいとコンサート」のほか、「●●withみやまアンサンブル」などにおける演奏を通して、演奏家の活躍の場を積極的に提供しており、協力演奏家間の交流や、新しいレパートリーの開発を促進することにより、地域の音楽文化振興の担い手である協力演奏家の演奏力、企画力の向上が見られるようになっている。

2 離島や遠隔地における演奏家の派遣

鹿児島県は南北約 600 kmに渡る広大な県土に多くの離島があり、それらの多くは生の演奏に触れる機会が非常に少ない。さらに離島以外の地域でも人口の少ない遠隔地が多く、それらの地域では経済的にもコンサートを招聘することが困難な状況がある。このような状況を踏まえ、大島地区（平成 31（令和元）年度は徳之島、沖永良部島、与論島）で実施した「みやまさてらいとコンサート」は、日頃、音楽に接する機会が少ない離島などの県民がクラシック音楽を身近に感じ、親しむ機会となり、全体で 2,142 人が来場するなど、多くの方々にとって生の音楽に親しむ好機となった。また、可能な限り楽器体験やクリニック、地元の子どもたちとの共演などの機会を作ったり、クラシック音楽はもとより、島唄や民謡など、その地域に根ざした音楽をプログラムに取り入れれたりするなど、地域の文化芸術に触れる場も設定するようにした。

なお、「みやまさてらいとコンサート」は離島や遠隔地の市町村の財政状況を考慮し、より多くの県民に生の演奏機会を提供するという理念の下、経費はすべて当館が負担している。

3 地元文化施設・音楽団体との連携

開館間もない頃から実施している鹿児島市内及び霧島市・始良市中心部（H29 年度から運行）発着の日帰りバスツアーで、霧島アートの森や上野原縄文の森のほか地元文化施設等と連携して「霧島国際芸術の森基本構想」の一環として行っている事業である。コンサートのみの鑑賞もでき、高齢者や交通弱者を中心に人気企画となっている。

コンサートは自主企画で行っており、協力演奏家や地元の演奏家（島唄、ジャズなど）等に出演を依頼している。平成 31（令和元）年度は、奄美大島、沖縄の唄者 4 名によるコンサートを実施し、好評を博した。

以上のような協力演奏家や地元の演奏家を中心に行う事業の他、野外音楽堂（4,000 人収容）で地元の小・中・高等学校、及び一般の音楽団体が出演する「野外音楽フェス～みやまの森の響き」も毎年行っている人気企画である。毎年特別ゲストを招いた特別ステージを行うほか、地元の音楽団体との共演なども行っており、県民の音楽活動の支援も行っている。平成 31（令和元）年度は、地元霧島市の小・中・高等学校による演奏のほか、県内の特別支援学校の児童・生徒による合唱なども披露することができた。また、枕崎市を拠点とし、鹿児島を代表するスカ・バンド「ARTS（アーツ）」を特別ゲストに迎え、県内各地から来場者を得ることができた。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

当ホールの管理・運営は、鹿児島県から公益財団法人鹿児島県文化振興財団が指定管理者として指定を受けており、職員は鹿児島県や霧島市からの派遣職員及び財団職員で構成される。

とりわけ、事業課の県教育委員会からの派遣職員は全員音楽科教諭であり、他ホールには見られない人材配置となっている（派遣期間は通常3年）。事業課の企画・運営を音楽科教諭が担当する意義は、音楽の専門的知識や技能、また、それぞれの校種における音楽科教育理論、教育技術などを持つ人材を常駐させることで、音楽文化の伝承と創造のための教育研修機能を十分に発揮させることにある。クリニックや研修会等のみやま音楽アカデミーとして企画し、開館当初より継続して実施していることや、ミニ・コンサート等で音楽的知見に基づいたレクチャーコンサートを展開していることは、特色ある人材配置により実現できたものとする。このようなことから、音楽文化振興のための普及・啓発及び人材養成の事業において、当ホールの果たす役割は大きい。

また、教育委員会からの派遣に加え、県や霧島市からの派遣、財団職員など、異なるキャリアを持つ者によって構成される組織であることから、円滑な事業運営のための職員研修は極めて重要と考える。このため、研修会参加計画を基に、全国公立文化施設協会等が主催する研修会を始め、職員の職務内容、経験年数等に応じた適切な研修への参加や、自主研修の積極的な実施を通して職員の資質向上に努めている（表参照）。

【表1：令和元年度研修実績報告書】

開催日	研修名	研修内容	参加者
8月18日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
9月20日	令和元年度県立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	12名
9月25日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
9月29日	令和元年度県立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
7月4日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	35名
7月10日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
7月12日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
7月31日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
9月12日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	25名
9月13日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
9月21日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
9月18日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	25名
10月4日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
10月10日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
10月24日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
11月20日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	25名
12月11日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	10名
12月17日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	10名
1月27日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名
1月30日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	12名
2月7日	県立・伊佐市立音楽ホール開館記念式典	開館式典の進行管理について、以下のとおり実施します。	15名

【表2：令和元年度 職員派遣実績一覧表】

№	行名	役職	依頼者	場所	月日	曜日	時間	内	松尾	五代	伊藤	神谷	中野
1	校内合唱コンクール	講師	武岡中学校	武岡中学校	6月7日	金	14:00~18:30			1			1
2	校内合唱コンクール	講師	入来中学校	入来中学校	6月8日	土	9:30~11:30				1		1
3	校内合唱コンクール	講師	山川中学校	山川中学校	6月28日	金	14:00~16:30	1					1
4	校内合唱コンクール	講師	霧島中学校	霧島中学校	6月30日	日	9:50~11:00	1					1
5	校内合唱コンクール	講師	舞鶴中学校	舞鶴中学校	7月3日	水	14:30~15:00						1
6	校内合唱コンクール	講師	長田中学校	長田中学校	7月4日	木	13:30~14:30						1
7	校内合唱コンクール	講師	舞鶴中学校	舞鶴中学校	7月5日	金	14:00~15:00			1			1
8	校内合唱コンクール	講師	伊敷台中学校	伊敷台中学校	7月5日	金	10:55~12:40	1					1
9	校内合唱コンクール	講師	牧園中学校	牧園中学校	7月5日	金	13:10~14:40	1					1
10	校内合唱コンクール	講師	伊敷台中学校	伊敷台中学校	7月7日	日	19:30~16:30	1					1
11	吹奏楽指導	講師	伊敷台中学校	主ホール他	7月12日	水	13:00~15:40	1					1
12	校内合唱コンクール	講師	甲南中学校	市立文化ホール裏2	7月12日	水	13:00~15:40	1					1
13	校内合唱コンクール	講師	入来中学校	入来中学校	7月13日	土	9:30~11:30	1					1
14	校内合唱コンクール	講師	栗野中学校	栗野中学校	7月13日	土	9:30~11:30			1			1
15	阿久根市小中学校研修会	講師	阿久根市小中学校	大川小学校	8月22日	木	午後				1		1
16	霧島市小中学校事前研修会	講師	霧島市教委	主ホール他	8月23日	金	9:15~12:00	1		1			1
17	伊佐市事前研修会	講師	伊佐市教委	伊佐市文化会館	8月26日	月	9:00~12:00				1		1
18	いちまき市音楽委員会研修会	講師	いちまき市音楽委員会	いちまき市音楽委員会	8月28日	水	10:00~						1
19	広木小学校合唱指導	講師	広木小学校	広木小学校	9月28日	土	9:00~11:30						1
20	広木小学校合唱指導	講師	広木小学校	広木小学校	10月5日	土	9:00~11:30						1
21	鹿島市小中学校音楽発表会	講師	始良市教委	加音ホール	10月16日	水	終日						1
22	広木小学校合唱指導	講師	広木小学校	広木小学校	10月19日	土	9:00~11:30						1
23	校内合唱コンクール	講師	伊敷台中学校	伊敷台中学校	10月25日	金	午前	1					1
24	校内合唱コンクール	講師	川辺中学校	川辺文化会館	10月31日	木	13:30~18:15	1					1
25	校内合唱コンクール	講師	福平中学校	福平中学校	11月1日	金	10:10~12:20				1		1
26	いちまき市音楽委員会発表会	講師	いちまき市音楽委員会	いちまき市音楽委員会	11月6日	水	12:45~18:30				1		1
27	志布志市音楽委員会発表会	講師	志布志市教委	志布志市文化会館	11月6日	水	終日	1					1
28	湯水町小中学校音楽発表会	講師	湯水町教委	栗野小学校	11月6日	水	午後	1					1
29	校内合唱コンクール	講師	吉田南中学校	吉田南中学校	11月8日	金	午後			1			1
30	広木小学校合唱指導	講師	広木小学校	広木小学校	11月9日	土	13:00~15:00						1
31	伊佐市音楽発表会	講師	伊佐市教委	伊佐市文化会館	11月14日	木	13:00~18:00						1
32	霧島市小中学校音楽会のついで	講師	霧島市教委	主ホール他	11月13日	水	終日			1			1
33	〃	〃	〃	〃	11月14日	木	終日				1		1
34	〃	〃	〃	〃	11月15日	金	終日	1					1
35	鹿島市小中学校音楽発表会	講師	曾於市教委	末吉総合センター	11月20日	水	終日			1			1
36	小宮研合唱講習会	講師	小宮研音楽部	サンエールかこま	11月11日	土	午後				1		1
37	ソロ・アンサンブルコンサート	講師	みやまコンセル	みやまコンセル	1月17日	金	終日	1					1
38	県学校合唱祭	講師	県学校合唱祭実行委	宝山ホール	1月25日	土	終日	1					1
合 計								12	6	17	11	19	4

なお、令和元年度より「霧島国際音楽ホール音楽アドバイザー制度」を創設し、当ホールのアートマネジメントノウハウ等が継承できるような体制を構築している。